

夷 夷の風景

中山仙境は、豊後高田市の夷谷を東西に分ける低い岩峰群です。中山仙境に言及する平安時代（794～1185 年）の史料もあります。豊後高田でも際立った景勝地です。岩の多い峰は奇岩で知られ、トレッキングに人気があります。このエリアは夷耶馬としても知られています。「耶馬」という言葉は、溶岩や凝灰岩の侵食によって形成された特徴的な岩峰を意味します。江戸時代（1603～1868 年）に日本人の思想家である頼山陽が中津の溪谷を訪れた際、この景色に着想を得て「耶馬溪」という題の漢詩を詠みました。これが「耶馬」という言葉の由来です。

トレッキングすると、見事な景色を随所で楽しめます。無明橋は見どころです。険しい崖に、厚くない石が 2 枚かかるのみです。橋には手すりが無いため、トレッキングする人は極めて注意深くある必要があります（橋を渡りたくない人には回り道があります）。同地域で最高峰の高城は高さが 317m もあります。中山仙境をトレッキングすると、隠れ洞穴と呼ばれる洞窟に達します。

中山仙境のふもと近くにも観光地が幾つかあります。東夷の有名な寺や神社の他にも、広々とした風呂（露天風呂を含む）があつて人気の夷谷温泉があり、週末レストランではそばなどの郷土料理を提供しています。一路一景公園の展望台からは、中山仙境の特徴的な景色や、年間をとおして色が変わる周辺の群葉を一望できます。